

2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社ホットランド 上場取引所 東
 コード番号 3196 URL http://www.hotland.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐瀬 守男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 武藤 靖 TEL 03 (3553) 8885
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	19,895	△17.8	477	△63.8	541	△56.8	△543	—
2019年12月期第3四半期	24,205	2.6	1,317	77.1	1,253	82.2	633	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △467百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 673百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△25.28	—
2019年12月期第3四半期	34.06	33.77

(注1) 2019年12月期第3四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益及び包括利益の増減率は1,000%を超えるため「—」と記載しております。

(注2) 2020年12月期第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	18,045	7,421	37.9	317.63
2019年12月期	17,730	7,753	42.0	346.31

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 6,835百万円 2019年12月期 7,448百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2020年11月13日）公表いたしました「配当予想の修正（未定）に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 3 Q	21,519,800株	2019年12月期	21,508,600株
② 期末自己株式数	2020年12月期 3 Q	ー株	2019年12月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 3 Q	21,515,186株	2019年12月期 3 Q	18,613,101株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により著しく経済活動が停滞するなど、先行きが見えない極めて厳しい事業環境が続きました。

このような状況下、当社グループにおきましても、政府の緊急事態宣言を受けて一時休業となった商業施設内の店舗や繁華街の酒場業態等において、4月、5月は多くの店舗が臨時休業を余儀なくされました。緊急事態宣言解除後は徐々に営業を再開し始め、従業員の体調チェックやマスク等の着用、定期的な手洗い、アルコール消毒液での手指や調理器具等の消毒など、お客様と従業員の安全を第一に心がけた衛生管理を徹底し、さらに感染拡大防止の観点から、営業時間の短縮や店内の座席の間隔を空けるなど、従前とは異なる新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めた店舗運営を行ってまいりました。そうした努力により、売上状況は徐々に回復傾向にあります。

築地銀だこ業態においては、既存店売上高の活性化を図るために、積極的な販促キャンペーンの再開、商品開発の強化・拡充、ドライブスルー業態の開発など、様々な取り組みを推進いたしました。9月8日からは、TVアニメ「鬼滅の刃」とのコラボレーションを展開し、売上・集客の回復に寄与いたしました。当コラボレーションは12月7日まで実施予定です。9月17日には、「トレーラーハウス」を活用したドライブスルー店舗を立川にオープンいたしました。弊社の「トレーラーハウス」は、過去様々な復興支援や、各種イベント・催事出店などで使用していたもので、短期間・低コストでの出店が可能であるため、今後、ニーズに合わせた新たな出店スタイルを展開してまいります。酒場業態においては、オフィス立地の店舗では徐々に回復傾向にありますが、観光立地の店舗ではインバウンド需要の落ち込みにより厳しい状況が続いております。しかしながら、これまで来店が少なかった若年層を獲得すること等により徐々に持ち直してきております。また、新たなテイクアウト型の酒場業態店舗である「銀だこ酒場」の1号店として6月に新小岩北口店、10月に2号店の初台店をオープンいたしました。「銀だこ酒場」は従前の酒場業態店舗よりもテイクアウトの構成比率を約50%と高く設定した酒場業態店舗で、今後、この業態を主に出店を行っていきます。一方で、不採算店舗の積極的な閉店や業態変更を引き続き実施いたしました。

製販事業では、冷凍たこ焼の卸販売商品の内、専門店向け商品は一部減少いたしました。大手コンビニエンスストアの導入店舗数が増加していることから、卸販売全体としては売上増となりました。

海外事業では、新型コロナウイルスの感染拡大による店舗休業等の影響が大きく、引き続き厳しい状況となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は19,895百万円(前年同期比17.8%減)、営業利益は477百万円(前年同期比63.8%減)、経常利益は541百万円(前年同期比56.8%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大を受けた緊急事態宣言の発令に伴う店舗の臨時休業等により発生した費用及び損失、酒場業態店舗等の退店等に伴う固定資産除却損や店舗整理損失及び固定資産の減損等の特別損失の計上、一方で休業手当を支給したことによる雇用調整助成金の特別利益の計上などにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は543百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益633百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ315百万円増加し、18,045百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が423百万円、たな卸資産が328百万円、のれんが409百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が1,029百万円減少したこと等によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて647百万円増加し、10,623百万円となりました。その主な要因は、短期借入金が1,224百万円、長期借入金が455百万円増加した一方、未払金が403百万円、未払法人税等が357百万円減少したこと等によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて332百万円減少し、7,421百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失543百万円の計上による利益剰余金の減少等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により内外経済をさらに下振れさせるリスクが顕在化しており、先行きに対する懸念材料があります。このような環境の中、当社グループは各種施策を着実に実行してまいりますが、2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を合理的に算定することが困難なため、引き続き未定とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,284,819	2,708,687
受取手形及び売掛金	2,427,843	1,398,043
たな卸資産	2,108,202	2,436,764
その他	672,738	943,497
貸倒引当金	△48,932	△41,107
流動資産合計	7,444,671	7,445,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,077,667	4,881,060
その他(純額)	1,067,967	1,021,574
有形固定資産合計	6,145,634	5,902,635
無形固定資産		
のれん	283,289	693,110
その他	192,575	160,179
無形固定資産合計	475,864	853,290
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,389,483	2,451,260
その他	1,304,246	1,401,374
貸倒引当金	△29,779	△9,072
投資その他の資産合計	3,663,950	3,843,562
固定資産合計	10,285,450	10,599,487
資産合計	17,730,121	18,045,373
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,066,848	930,773
短期借入金	100,000	1,324,561
1年内返済予定の長期借入金	954,144	1,115,529
未払金	1,340,221	936,704
未払法人税等	388,334	30,348
賞与引当金	76,305	156,889
資産除去債務	42,653	43,461
その他	1,047,570	719,046
流動負債合計	5,016,078	5,257,315
固定負債		
長期借入金	3,678,294	4,133,907
資産除去債務	624,960	606,673
退職給付に係る負債	64,823	61,993
その他	592,060	563,678
固定負債合計	4,960,138	5,366,252
負債合計	9,976,217	10,623,568

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,294,699	3,296,099
資本剰余金	3,183,575	3,184,975
利益剰余金	786,999	135,557
株主資本合計	7,265,274	6,616,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	417	789
繰延ヘッジ損益	193,658	230,801
為替換算調整勘定	△5,493	△8,710
退職給付に係る調整累計額	△5,233	△4,168
その他の包括利益累計額合計	183,348	218,712
非支配株主持分	305,280	586,459
純資産合計	7,753,904	7,421,804
負債純資産合計	17,730,121	18,045,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	24,205,597	19,895,450
売上原価	9,441,362	7,814,598
売上総利益	14,764,234	12,080,851
販売費及び一般管理費	13,447,169	11,603,578
営業利益	1,317,064	477,273
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,536	2,108
為替差益	—	41,398
補助金収入	—	48,306
その他	10,178	22,502
営業外収益合計	11,715	114,316
営業外費用		
支払利息	28,678	24,807
為替差損	21,524	—
支払手数料	23,694	5,070
貸倒引当金繰入額	—	17,500
その他	1,616	2,920
営業外費用合計	75,513	50,298
経常利益	1,253,265	541,291
特別利益		
固定資産売却益	16	1,015
子会社株式売却益	41,237	—
受取補償金	—	43,082
雇用調整助成金	—	149,388
特別利益合計	41,254	193,487
特別損失		
固定資産除却損	71,439	371,720
店舗整理損失	61,571	166,075
投資有価証券評価損	—	16,562
減損損失	93,787	55,610
臨時休業等による損失	—	315,535
特別損失合計	226,798	925,504
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,067,721	△190,725
法人税、住民税及び事業税	258,737	91,203
法人税等調整額	132,562	216,129
法人税等合計	391,299	307,333
四半期純利益又は四半期純損失(△)	676,422	△498,059
非支配株主に帰属する四半期純利益	42,539	45,839
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	633,882	△543,898

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	676,422	△498,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,839	372
繰延ヘッジ損益	18,076	37,143
為替換算調整勘定	△19,754	△7,784
退職給付に係る調整額	818	1,064
その他の包括利益合計	△2,699	30,796
四半期包括利益	673,722	△467,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	642,605	△508,535
非支配株主に係る四半期包括利益	31,117	41,272

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。